

同窓会報

第 29 号

平成24年7月23日

発行
宮城県泉松陵
高等学校同窓会
☎ 022-373-4125

印刷
創文印刷出版(株)
☎ 022-222-0181



点

同窓会長 13回生 小野 裕介

私が同窓会の会長になり十年が経ちました。十年一昔とはいいますが、泉松陵高校も私が高校生として在籍したときに比べて様々な面で変わってきました。制服も変わり、授業も六十五分授業。学食もできました。でもあの県民の森に囲まれた自然豊かな校舎の場所は変わっていません。校庭はいつも運動部が部活をしていて廊下で会う生徒たちは大きな声で挨拶を交わってくれます。会長という立場にあるため、年に何度か松陵高校に行く機会があるので、いつも見ている感じがして十年という期間もとても早く感じられた期間でした。卒業してからは感じることは、出会いの場というのは年齢を重ねることに少しずつ限定されていくなど感じます。同じ仕事、同じ考え、同じ趣味：など、自分に共通する人との付き合いが多くなっています。私はこの同窓会を通じて多くの人に会えることができ、普通にも暮らしている人たちもわなかつたかもしれない人たちとも会うことができ、多くの話ができ、貴重な体験をしています。

ipadなどのヒット商品をだしたアップルの創業家、スティーブジョブズが米のスタンフォード大学で講演した有名な言葉があります。「先を見通して点をつなぐことはできない。振り返ってつなぐことしかできない。だから将来何らかの形で点がつながると信じなければならぬ。何かを信じなければならぬ。直感、運命、人生、カルマ、その他何でも。この手法が私を裏切ったことは一度もなく、私の人生に大きな違いをもたらした。」彼は進学した大学での勉強に将来を見出せなく、辞めてしまったそうです。そして本当に自分のやりたいことをしようとして自分の興味のある授業を受けていたそうです。それは美術の授業で、当然そのことを将来に生かそう、活用しようとは考えてもいなかったそうですが、マッキントッシュの開発で洗練された印刷技術に応用することができたそうです。点を結ぶ。ジョブズはそのように表現していますが、自分がこれから体験することを将来に生かしたいと思ってもうまくいかない場合が多くありますが、体験した意外なことでも振り返ってこれからつなげることができると言っています。

同窓会の皆様には、復興元年をいかにお過ごしでしょうか。日頃、本校教育の振興・発展そして在校生への激励等に多大なる御支援・御協力を賜り御礼・感謝を申し上げます。昨年度は創立三十周年の佳節でしたが、全事業（懸垂幕昇降装置、松学館「自習室」、芸術鑑賞会、記念式典・講演会・祝賀会）を完遂しました。ひとえに皆様の御尽力によるものと感謝しております。また、七回生の伊藤治子様からは、「辞で歴史を振り返り、ホールに響く校歌に感激しました。祝賀会では多くの恩師と再会し励ましの言葉をいただきました。今後も母校への感謝を忘れず、研鑽に努めます。」との丁寧なる書状（一部紹介）をいただきました。職員は、これからも卒業生の期待と信頼に応え、よりどころとなるよう精進いたします。さて、平成二十四年度は四月九日始業式・入学式を行い順調にスタートしました。しかし、震災関係の工事は前年度末までに終了できませんでした。本年度、体育館内部の修復、南校舎屋上の防水工事、外装内装の改修工事を八月集中で、教育活動へ影響のないように施工しています。行事関係では、二年ぶりの定期戦を開催しました。定期戦経験者は三年生のみでしたが、レギュラー「四月二十二日」、第二十七回泉三校定期戦「五月一日」ともみごとな内容でした。本校は男女十六競技種目に全力を尽くしましたが、僅少差で三位の結果に終わりました。しかし、松陵高校は事務局校として、円滑な運営をし、みごと責任を果たしました。第六十一回泉高校総体では、陸上



帆を高く上げ

四十周年へ出航

校長 大林 茂

同窓会の皆様には、復興元年をいかにお過ごしでしょうか。日頃、本校教育の振興・発展そして在校生への激励等に多大なる御支援・御協力を賜り御礼・感謝を申し上げます。昨年度は創立三十周年の佳節でしたが、全事業（懸垂幕昇降装置、松学館「自習室」、芸術鑑賞会、記念式典・講演会・祝賀会）を完遂しました。ひとえに皆様の御尽力によるものと感謝しております。また、七回生の伊藤治子様からは、「辞で歴史を振り返り、ホールに響く校歌に感激しました。祝賀会では多くの恩師と再会し励ましの言葉をいただきました。今後も母校への感謝を忘れず、研鑽に努めます。」との丁寧なる書状（一部紹介）をいただきました。職員は、これからも卒業生の期待と信頼に応え、よりどころとなるよう精進いたします。さて、平成二十四年度は四月九日始業式・入学式を行い順調にスタートしました。しかし、震災関係の工事は前年度末までに終了できませんでした。本年度、体育館内部の修復、南校舎屋上の防水工事、外装内装の改修工事を八月集中で、教育活動へ影響のないように施工しています。行事関係では、二年ぶりの定期戦を開催しました。定期戦経験者は三年生のみでしたが、レギュラー「四月二十二日」、第二十七回泉三校定期戦「五月一日」ともみごとな内容でした。本校は男女十六競技種目に全力を尽くしましたが、僅少差で三位の結果に終わりました。しかし、松陵高校は事務局校として、円滑な運営をし、みごと責任を果たしました。第六十一回泉高校総体では、陸上

功裡に終了しました。松陵生は今、「青春錬磨の夏」真只中です。課外講習・部活動・ボランティア活動等々懸命に取組み汗を流し頑張っています。本年度は、創立三十二年目の泉松陵高校です。いよいよ伝統校として他校をリードし、本校の役割をしっかりと果たす時機であると思います。そのためにも、生徒・教職員は決意も新たに、四十周年を標榜し、同心全力で航行しなければなりません。そして、卒業生・関係各位の御期待に応えたいと思います。どうか御支援と御協力をお願い申し上げます。結びに、社会に貢献・活動中の同窓会（二〇一二年三月現在九、七〇二名）の皆様方の御健康・御多幸そして同窓会の益々の隆盛・発展を祈念し、御挨拶いたします。

平成24年度 宮城県泉松陵高等学校同窓会 総会・懇親会ご案内

日時 平成24年8月11日(土)
受付 16:30 ~ 17:00
総会 17:00 ~
懇親会 17:30 ~
会場 ホテル白萩
☎022-265-3411
会費 3,000円



会場案内図

※ 同封のはがきに出欠の有無等を記入していただき、50円切手貼付の上8月4日(土)必着にてご返送ください。今年度は8・18・28回生担当の先生を御招待しています。

泉松陵風信録

拓桃支援学校に勤務して

四回生 石川由美子



支援学校をご存知ですか。私は近所に養護学校（現在の支援学校）があったので養護学校という学校があることは知っていました。けれどその程度の認識しかありませんでした。その私になぜ今、支援学校の教師をしているのか。それは私が教師になった年の研修で養護学校に行った時に会った子どもの「キラキラした目」に魅かれたことから始まります。その後支援学校に「勤めたい」という願いが叶ったのは初めての転勤の時でしたが、その時は「支援学校」についてほとんど知らなかったのです。

現在宮城県には障害種別に支援学校が二十校以上あります。転勤するまで障害種別によって学校が分かれていることさえよく分かりませんでした。希望して転勤したものの、知らないことの多さに戸惑いました。私が今まで勤務したのは高等養護学校、知的障害支援学校と肢体不自由支援学校です。同じ支援学校と言っても、障害も違えば、カリキュラムも違う。もちろん求められている支援も違います。知的支援学校には、言葉を話せない生徒から、読み書きは苦手だけれど一般の会社に就職ができる生徒までいます。最初の頃は、言葉のない子どものようにコミュニケーションをとるのか全く分からず、周りの先生方に聞いたり、自分であれこれ試してみたりの連続でした。しかし、毎日過ごすうちにその生徒

のちょっとした合図や表情で、「今、何をしたいのか」「楽しいのか、嫌なのか」ということが、少しずつ分かるようになりました。相手の気持ちをくみ取ろうと思えば意思が通じるようになるのだと感じました。

現在は肢体不自由の支援学校に勤務していますが、こちらは教科の学習をしている生徒から知的支援学校と同じようなカリキュラムで学習している生徒まで大変幅が広い学校です。病院に併設されているため、入院生活を送りながら学校に通っています。手術やリハビリに励みながら、みんな学校が大好きで毎日元気に登校してきます。車いすに乗っている生徒が多いのでその手伝いをしますが、その時に気を付けているのは、子ども自身が「自分でできる」とは自分でやる」ように関わることです。もしできない時は「自分からお手伝いをする」とを伝えられるようになること。これはどちらの学校にも共通することですが、私たち教師は「手を出してしまう」ことが多くなりがちです。本当は自分でできることも、生徒がお願いするのを「待たない」で手伝ってしまいがちです。少し時間がかかったとしても、「待つ」ことを大切にしていきたいと思っています。

「支援学校に勤めたい」と思った時から二十年が過ぎました。あの頃知らなかった支援学校についてもだいぶ分かるようになりました。いざ勤めてみると自分が思い描いていたものとは違うこともありましたが、それと同時に予想外に起こる嬉しいこ

ともたくさんあります。そこには生徒たちの「笑顔」がついてきます。それがあからこそ、今の仕事が続いているのだと思います。学校にいてできることは限られています。が、学校生活はもちろん、卒業した後もずっと笑顔で生活していけるよう、私ができることをやっていきたいと思っています。

恩師との絆

六回生 岡田 敬子



貴校を卒業後、看護師、保健師の資格を取得し、現在私は小児専門病院で看護師として働いています。看護師として働き始めてから二十年目になりました。

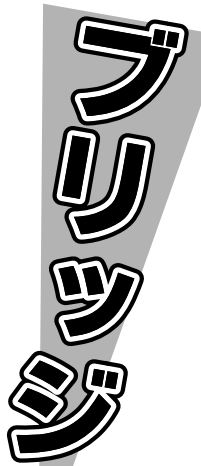
働き始めた頃は、早く一人前の看護師になりたいと思っておりましたが、二十年目になった現在も毎日勉強で、一人前になった実感はありません。対人との関わりの中で、しかも健康を害した人との関わりは簡単なものではありませんでした。ましてや健康を害した子どもの場合は看護の対象が子どもだけでなく、親兄弟、祖父母、時にはご自身の保育・教育関係者にまで至り、多くの人を対象とします。対象が変われば看護の方法も変えなければなりません。健康を取り戻すために何が問題なのか、どうすれば解決できるのか、毎日奮闘中です。

そんな毎日の中で嬉しかったことがあります。低出生体重児で生まれた子どもが初めてミルクを口から飲めた時、低出生体重児がまるまると

太って退院できた時、病院が治癒し元気に笑顔で退院する姿を見送る時、健康を害した子どもと永遠のお別れも経験しますが、良いお別れの機会となるよう自分はどうのように看護していくかを考え、そして良い看護ができるように日々成長していきたいと思っています。

また、共働きの家庭が増え、家族形態が核家族中心に変化している現在、子育てが困難な状況になっていると仕事を通して感じることもあります。夜に緊急受診をすることがあります。子どもの体調について子育て経験のある祖父母等に相談をして、受診せずに自宅で様子を見ることができて、受診することでのこどもの負担が軽減できる、といったケースが多いからです。身近に相談者を見つけて、安心した毎日が送れるような社会になればと思います。

先日、高校一年生時に担任をしてくださった大林先生と私の仕事場で再会しました。大林先生は校長先生になっておられ、卒業後二十年以上経過しておりましたが、先生は私のことを覚えていてくださいました。大変嬉しく思ったと同時に、仕事をしている姿をお見せするのが少し恥ずかしく思ったのを記憶しています。何十人、何百人の生徒を担任しておられた先生が一生徒であった私を覚えていてくださったことが、私も担当した子どもとの出会いを忘れずにいたい、と強く感じさせていたのだと卒業して何年経過後でも、先生は私にとつての先生ですね。



教育実習で学んだこと

二十六回生 我妻 優也

教育実習を終えて、振り返ればあっという間の三週間でした。目に映る様々な光景が新鮮で、普段の大学生活では学ぶことができない多くのことを経験することができました。久しぶりに母校に帰ってくるということで、懐かしい気持ちを持って実習に臨みましたが、生徒の立場から見た泉松陵高校と、教師としての立場から見た泉松陵高校はまったく別のように感じました。三週間という短い期間でしたが、自分が生徒だった時は気が付かなかった先生方の努力や苦勞、熱意など多くの事を知ることができました。

四年ぶりに帰ってきた泉松陵高校には、私の担任だった先生や部活動や授業でお世話になった先生が今までもいらっしやいます。当時は生徒として親切なご指導を頂きましたが、今回は教師として接して頂き、親切で時には厳しいご指導を頂きました。実習初日、母校に教育実習生という立場で戻るといふことで、ワクワク嬉しい気持ちと、生徒たちに受け入れてもらえるのか、こんな未熟な私が教壇に立っていいのかという不安でいっぱいでした。しかし、松陵生の元気なあいさつや担当のクラスの生徒達が明るく、元気に接してくれたおかげで、不安な気持ちを拭い去ることができました。

授業参観やSIRの進行で学ぶ事はたくさんありましたが、授業実習での経験が一番印象に残りました。教育実習生という身分でしたが、一人の教師として教壇に立たせて頂き、自分を再発見することが出来ました。教材研究や板書計画の甘さ、説明の仕方、言葉遣いなど、日常の生活では気付かない多くの課題を洗い出す機会となりました。教師という立場で数学を教える際に「自分が思っているように伝わらない」苦勞を現実の場で身を持って体験することができました。

最後に、この三週間で私に関わったすべてのみなさんに感謝申し上げます。親切なご指導を頂いた先生方、私の稚拙な授業に耳を傾けてくれた生徒のみなさん。貴重な体験をさせていただき、ありがとうございます。

先生といつ立場になって

二十六回生 村井 充

私はこの教育実習の三週間の中でも多くの事を学び同時に先生という職業の素晴らしさを実感することが出来ました。大学では保健体育教諭の免許をとるための勉強やよい

授業のつくり方などを学んできましたが学校という独特な雰囲気や生徒とのコミュニケーションは大学では学べるものではなく、本当の現場でなければ体験することが出来ない事だと思いつても良い体験をさせていただくことが出来たと思います。

初日は不安だらけでとにかく授業をたくさん見て、体育の雰囲気になれようと思いました。体育科の河野先生や水間先生、斎藤先生、加賀先生、石井先生の授業はどれも素晴らしい真似したくても私は真似できないような雰囲気で行っており、先生は素晴らしい職業だと感じました。実際に自分が授業を行った時に、保健では授業中に何を話しているのかわからなくなったり時間の配分がわからなくなり、失敗した授業でした。そこで担当の水間先生にはとにかく学びが浅いと言われ、そこで先生というものは常に勉強を行っているのだと感じました。そこから私は保健ではとにかくいろいろな豆知識を生徒に教える授業にしていこうかと決めました。そして二回目以降そのような授業を行うように心がけ、なんとか実習を終えることができました。

体育はとにかくうるさい一年生が担当で初めは何回も本当に怒らうかと思いましたが、我慢しなるとか一週間を過ごすことができました。そして何回か行ううちに、うるさい生徒にはどのような態度で接したらいいかや、笛の使い方などが理解することができました。このようにして三週間、授業を行うことができました。

これが出来たのも自分の力だけではなく、泉松陵高校の数多くの先生方のおかげだと思えました。次は自分

教育実習を体験して

二十六回生 柳沼 大午

事前指導の日、卒業して約四年ぶりに帰ってきた泉松陵高校は相変わらずの広い広い校庭と年季の入った校舎は変わっていませんでした。

廊下、教室、職員室の匂い、生物室の匂い、チャイム、階段。五感を思い出させてくれました。私自身は当時とあまり変わってないと感じていたのですが、在学中から今も在籍なさってる先生方に「落ち着いたね、変わったね」と言われ、当時の自分がどれほど落ち着きが無く、子どもっぽかったかを考えると非常に恥ずかしく感じました。また、当時からとても厳しく顔を見るだけで萎縮していた部活動の先生に挨拶をした際、卒業以来一度も顔を出さなまま実習にのぞんだ事に関してお叱りを受け、自分の未熟さやだらしなさを感しました。それと同時に当時と変わらない先生に懐かしさと嬉しさを感しました。

三週間という期間は非常に長いものだと思っていました。過ぎてしまえばあっという間で、毎日がとても濃度の高いものでした。生徒達はとても素直で挨拶をすればしっかりと返してくれるとても実習のしやすい環境だと感じました。

業をしていて先生の話の聞いていなかったり、すぐに悪態をついたりする生徒がこんなにもすぐわかると思いませんでした。当時は、なんでオレばかり怒られた。当時は、なんでオレばかり注意されるのだろうと先生方に腹を立てていました。しかし、先生という立場から見るとその理由がすぐにわかりました。その時は先生方に対し腹を立てた事をとても後悔しました。

また、自分では丁寧に教えているつもりでも生徒に伝わってないなったり、違った解釈にとられる事がありとてもどかしく感じました。このくらいで伝わるだろうではなく、言いすぎだろうというくらいの気持ちで伝えなければならぬのだと感じさせられました。この実習を通して教師という職業の難しさ、偉大さを身を持って感じる事が出来ました。生徒が知らない所で先生方がどれだけ生徒を思い、生徒の為に努力しているのか、こんなにもやりがいのある素敵な職業はないと思ひ、本気で教師を目指そうと思えるようになりました。この三週間、私に携わって頂いた先生方、生徒の方々、一生忘れる事の出来ないものになりました。本当にありがとうございます。

同窓会 150年の活動

- 平成24年5月12日(土) 第1回役員会
- 6月17日(日) 第2回役員会
- 7月21日(土) 第3回役員会
- 8月11日(土) 同窓会総会
- 平成25年2月2日(土) 第4回役員会
- 2月28日(木) 同窓会入会式
- 3月1日(金) 卒業式

平成23年度 宮城県泉松陵高等学校同窓会会計決算書

収入総額 3,291,947円
 支出総額 2,440,927円
 差引残額 851,020円

収入の部

(単位 円)

科目	予算額	決算額	増減	備考
会費	994,800	993,400	△1,400	準会員 @1,200×827名 (転・休・退学者は月割)
入会金	269,000	266,000	△3,000	新卒生 @1,000
年会費	669,600	684,600	15,000	新卒生 @2,000 同窓生78名
繰越金	337,518	337,518		
雑収入	5,000	2,600	△2,400	過年度会費等
積立金	750,000	1,007,829	257,829	30周年記念事業拠出に伴う 定期預金解約
合計	3,025,918	3,291,947	266,029	

支出の部

科目	予算額	決算額	増減	備考
1 運営費	230,000	145,630	△84,370	
会議費	120,000	96,510	△23,490	総会費用・役員会時茶菓
旅費	35,000	30,000	△5,000	監査・役員会旅費
慶弔費	25,000	10,000	△15,000	弔電代
需用費	30,000	0	△30,000	用紙、インク、イベントバス
通信費	20,000	9,120	△10,880	役員会案内状送付用ハガキ
2 事業費	2,710,000	2,295,297	△414,703	
報償費	160,000	126,438	△33,562	卒業証書用ホルダー代
会報発行費	1,300,000	1,161,030	△138,970	会報28号印刷・発送・名簿 メンテナンス料
積立金	500,000	257,829	△242,171	30周年記念事業拠出金残金 再積立
30周年記念事業	750,000	750,000		30周年記念事業拠出金
3 予備費	85,918	0	△85,918	
合計	3,025,918	2,440,927	△584,991	

積立金

H23. 3. 31現在	預金利子	H23年度積立額	H24. 3. 31現在 積立額

通帳及び関係書類を監査したところ、いずれも適正に処理されていることを報告します。

平成24年 6月17日

監事
監事

伊藤 治子 印

平成24年度 宮城県泉松陵高等学校同窓会会計予算書 (案)

収入の部 2,806,620円
 支出の部 2,806,620円

収入の部

(単位 円)

科目	本年度予算額	前年度予算額	増減	備考
会費	996,000	994,800	1,200	@1,200×830名
入会金	276,000	269,000	7,000	@1,000×276名
年会費	683,600	669,600	14,000	在校生 @2,000×276名 同窓生 @1,880×70名
繰越金	851,020	337,518	513,502	
雑収入	0	5,000	△5,000	
合計	2,806,620	2,275,918	530,702	

支出の部

科目	本年度予算額	前年度予算額	増減	備考
1 運営費	230,000	230,000	0	
会議費	120,000	120,000	0	総会費用・役員会時茶菓代
旅費	35,000	35,000	0	監査・役員会旅費
慶弔費	25,000	25,000	0	弔意
需用費	30,000	30,000	0	会務用消耗品
通信費	20,000	20,000	0	役員会案内状送付用ハガキ・ 切手
2 事業費	2,520,000	1,960,000	0	
報償費	160,000	160,000	0	卒業証書用ホルダー
会報発行費	1,360,000	1,300,000	0	会報29号印刷・郵送料・ 名簿メンテナンス料 (H23含む)
積立金	1,000,000	500,000	0	記念事業積立 (H23分含む)
3 予備費	56,620	85,918	△29,298	
合計	2,806,620	2,275,918		

卒業生の進路状況

◎平成23年度卒業生（平成24年3月卒業・29回生）進路状況

	卒業生 人数	進 学						就 職		受験準備 未定・その他
		大 学	短期大学	大 学 校	看 護	専 門 学 校	一般企業等	公 務 員		
男子	118	84	0	1	1	16	3	3	10	
女子	150	85	20	0	9	32	3	0	1	
計	268	169	20	1	10	48	6	3	11	

◎大学合格者 (延べ合格数・○の中の数字は過卒者)

国公立大合格者

大 学	学 部	学 科	23年度
北見工業大	工	情報電気エレクトロニクス	①
弘前大	農学生命科	生 物	1
宮城教育大	教 育	初等教員養成	1
宮 城 大	事業構想	デザイン情報	2
	食産業	環境システム	3
山 形 大	工	機械システム工	1
		情 報 科	2
		物質化学工	①

大 学	学 部	学 科	23年度
東北文化学園大	医 療 福 祉	リハビリテーション	8
	総 合 政 策	総 合 政 策	1
宮城学院女子大	学 芸	英 文	2
		国 際 文 化	5
		食 品 栄 養	5
		生活文化デザイン	3
		日 本 文	8
		人 間 文 化	4
		発 達 臨 床	9

県内私大合格者

大 学	学 部	学 科	23年度
石巻専修大	経 営	経 営	1
尚 綱 学 院 大	総 合 人 間	現 代 社 会	7
		健 康 栄 養	3
		子 ども	1
		生 活 環 境	3
		人 間 心 理	5
		表 現 文 化	6
仙台白百合女子大	人 間	健 康 栄 養	10
		国 際 教 養	2
		総 合 福 祉	2
		人 間 発 達	8
仙 台 大	体 育	運 動 栄 養	2
		スポーツ情報マスメディア	1
		体 育	5
東 北 学 院 大	法 文	法 律	② 8
		英 文	11
		英 文 (夜間)	2
	工	環 境 建 設 工	4
		機 械 知 能 工	3
		電 気 情 報 工	2
		電 子 工	4
	経 営	経 営	4
	経 済	共 生 社 会 経 済	11
		経 済	① 8
	教 養	言 語 文 化	1
		情 報 科 学	7
		地 域 構 想	1
		人 間 科 学	2
東 北 福 祉 大	健 康 科 学	医 療 経 営 管 理	1
		リハビリテーション	3
	子 ども 科	子 ども 教 育	③ 3
	総 合 福 祉	社 会 福 祉	① 6
		社 会 教 育	① 4
		福 祉 心 理	1
	総合マネジメント	産 業 福 祉 マネジメント	3
東 北 薬 科 大	薬	薬	1
東 北 工 業 大	工	環 境 情 報 工	1
		環 境 エ ネ ル ギ ー	2
		建 築	1
		情 報 通 信 工	3
		都 市 マネジメント	1
	ライフデザイン	クリエイティブデザイン	2
		経営コミュニケーション	7
東 北 生 活 文 化 大	家 政	家 政	1
		被 服	1
		健 康 栄 養	1
		生 活 美 術	1

県外私大合格者

大 学	学 部	学 科	23年度
東北芸術工科大	芸 術	美 術	1
	デ ザ イン 工 学	映 像	1
札 幌 大	外 国 語	ロ シ ア 語	2
	文 化 学	文 化 学	2
奥 羽 大	薬 学	薬 学	2
流 通 経 済 大	経 済 学	経 営	1
尚 美 学 園 大	総 合 政 策	ラ イ フ マネジメント	1
駿 河 台 大	メ デ ィ ア 情 報	メ デ ィ ア 情 報	1
帝 京 大	法 学	法 学	① 1
	経 済 学	経 済 学	① 1
垂 細 垂 大	経 営 学	経 営 学	1
江 戸 川 大	メ デ ィ ア ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	マ ス ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	1
駒 澤 大	文 学	国 文	1
國 學 院 大	神 道 文 化	神 道 文 化	1
東 京 電 機 大	理 工	理 工	1
日 本 女 子 体 育 大	体 育	運 動 科	1
日 本 薬 科 大	薬 学	薬 学	1
明 海 大	不 動 産	不 動 産	1
神 奈 川 大	外 国 語	英 語 英 文	1
神 奈 川 工 科 大	情 報 学	情 報 メ デ ィ ア	1
新 潟 経 営 大	経 営 学	ス ポ ー ツ マネジメント	1

国公立・私立短大合格者

短 大	学 科	23年度
聖 和 学 園 短 大	保 育 福 祉	6
	キ ャ リ ア 開 発 総 合	4
仙 台 青 葉 学 院 短 大	看 護	5
	ビ ジ ネ ス キ ャ リ ア	3
秋 田 栄 養 短 大	栄 養	1
大 月 市 立 大 月 短 大	経 済	1
東 日 本 航 空 短 大	経 済	①

看護医療系合格者

学 校 名	23年度
亀田医療看護専門学校	2
慈恵第三看護専門学校	1
石巻赤十字看護専門学校	1
仙台医師会附属看護専門学校	1
仙台医療センター看護助産学校	2
仙台徳洲会看護専門学校	① 4
東北労災看護専門学校	① 1
ハートランドしぎさん看護専門学校	1
福島看護専門学校	1
ポラリス保健看護学院	1
宮城県塩竈医師会附属看護学院	①
山形厚生看護学校	1

今春の進路状況

進路指導部長 阿部 敏夫

大学・短大

平成二十四年三月卒業生の大学進学状況は、四年制大学一六九名、短大二十名の計一八九名で、大学短大進学率は約七一％となり、ほぼ例年並みであった。震災のため実質二ヶ月間、進路指導ができなかったにもかかわらず、生徒達の進路意識は高くなっており、がんばる姿が随所に見られた。国公立四大は十名、東北学院大は共生社会経済学科や英文学科を中心に六十八名が進学している。センター試験では得点率八十二％を取る生徒もでており、宮城教育大に合格している。また東北福祉大は二十一名と例年の倍以上進学している。他の大学でもそうだが、本年の特徴は看護や介護、管理栄養系、保育幼稚園系など資格取得に直結する学部学科に進路先がシフトしている。本校の大学進学希望者二〇二名のうち現役合格進学率は約九十四％で、市内の高校の中でも高い数字を示している。震災でいろいろな場面を目にすることで、自分の進む道を真剣に考えたり、社会貢献への意識が高まったり、保護者と一緒に話し合う機会が増えたためであろう。反面、県外の大学に進学者の割合は一昨年度は二十二％、昨年度は十三％、今春は十五％と地元志向が強調された。また、未定者はゼロ、受験準備の者が十一名であった。市内の私大を合格したが、もう一年国公立を目指す生徒も多数出た。生徒の希望学科と実際の進路先にミスマッチはなく志望通りの進学ができたようである。今後の課題としては一般入試の合格者の増加である。そのためにはセンター試験の得点率アップや私大の一般入試に対応できるような実力の養成が急務である。進路指導部では、

模試データの詳細分析を教科科目に依頼し、その有効活用を呼びかけるなどして、授業や課外の質の向上を図っている。

専修・各種学校

看護専門学校十名を含め、五十八名が専修・各種学校に進学した。全体の約二十二％と昨年度よりも七％増加した。公務員予備校が五名、リハビリなどの医療系が三名、美容系が六名、医療事務系が六名など例年より多かった。通信教育や自学で取れる民間資格が取得目的の学校であれば、大学・短大への進学を勧めている。理容・美容や調理師など、国家試験

資格の取得が目的の専修学校については、将来の就職も見据え、実績を見ながら慎重に学校を選ばせたい。

公務員・就職

公務員試験は、埼玉県警二名、自衛官一名の計三名、民間企業はヨークベニマルなど六名、合計九名は全体の三％にあたる。震災を受けた地域への求人を他県から多くいただいたが、地元志向が強く、専門学校への進学へ変更する者も多数いた。二十四年度の求人数は、例年並みの厳しさになることが予想されるので、就職希望の生徒にはきめ細やかな対応を心がけたい。

高総体、その他の大会結果

★陸上競技男子

400 m H 鈴木 決勝進出 6位入賞
(県大会)

400 m 太宰 準決勝進出
(東北大会出場)

1500 m 三田村 決勝進出 12位

5000 m W 木村 決勝進出

走り高跳び川名 決勝進出

200 m 太宰 予選

5000 m 三田村、及川 予選

110 m H 川名、佐藤泰 予選

3000 m S C 及川 予選

400 m R 予選

1600 m R 予選

★陸上競技女子

1500 m 澤口 予選

3000 m 澤口 予選

1600 m R 予選

★バレーボール女子

〈県大会〉二回戦 対仙台三 2-1

三回戦 対古川学園 0-2

★バスケットボール男子

〈地区予選〉対富谷

対仙台二

対黒川

〈県大会〉一回戦 対迫桜

115 94 78 130

92 72 101 44

★ソフトテニス男子

二回戦 対古川工業 92-105

〈県大会〉

団体戦 二回戦 対仙台三 0-3

ダブルス 二回戦 鈴木・浅井

二回戦 三上・千葉

★ソフトテニス女子

〈県大会〉

団体戦 一回戦 対泉

二回戦 対仙台華 1-2

ダブルス 佐藤・後藤

一回戦 対東北

箱崎優・佐々木

一回戦 対聖ウルスラ学院英智

越前・降幡

一回戦 対宮城広瀬

★ハンドボール男子

〈県大会〉一回戦 対東北

二回戦 対東北高 26-29

ベスト16

★バドミントン男子

〈県大会〉

一回戦 対仙台東

二回戦 対名取北

三回戦 対仙台

0-3

シングルス 三回戦 佐藤 対宮城工業

二回戦 小林 対岩ヶ崎

一回戦 渡辺 対仙台東

ダブルス 小林・渡辺 対聖ウルスラ学院英智

二回戦 大野・鈴木 対聖和学園

一回戦 佐藤・矢口 対多賀城

一回戦 女鹿・向口 対仙台育英学園

★バドミントン女子

〈県大会〉

団体戦 一回戦 対東北

1-3

★ソフトボール

〈地区予選〉

対東北

対仙台育英学園

対尚綱学院

一回戦 対岩ヶ崎 11-8

二回戦 対仙台二華 0-8

〈県大会〉

一回戦 対泉

二回戦 対仙台三 0-3

★剣道男子

〈県大会〉

団体戦 予選リーグ 3位

★剣道女子

〈県大会〉

団体戦 予選リーグ 2位

★弓道男子

〈地区予選〉

団体 3位

個人戦 山川、佐藤、高橋、小杉、高澤 県大会出場

〈県大会〉

団体戦 ベスト16 準々決勝進出

〈二次予選・二次予選通過〉

★弓道女子

〈県大会〉

団体戦 ベスト8 準々決勝進出

〈二次予選・二次予選通過〉

★新体操

〈県大会〉

団体戦

ベスト4

★卓球男子

〈地区予選〉

一回戦 対仙台三

0-3

復活一回戦 対仙台三華

2-3

★野球 対東北学院 1-6

〈地区予選〉

中部地区二回戦 対仙台三 0-4

敗者復活二回戦 対泉館山 4-3

敗者復活三回戦 対仙台商業 3-4

※陸上競技部 鈴木鉄平君(400mH)

弓道部女子個人 山川尚子さん

ファイイト!

平成二十四年度

教職員人事異動

〔転出者〕

小田 浩一 教頭《理科》角田高へ

小野 均 《英語》ご退職

菅野 和子 《理科》ご退職

吉田 裕亮 《保健体育》美田園高へ

小島 輝彦 《地歴公民》名取高へ

大沼 景子 《芸術》利府高へ

小山 義文 《理科》仙台南高へ

伊藤真由美 《地歴公民》仙山西高へ

粥川 敬子 《英語》仙南陵中等学校へ

横山 植 《家庭》美田園高へ

齋藤 和恵 《国語》仙台三桜高へ

堀内 正巳 《事務部長》拓桃支援学校へ

伊藤 直子 《主任主査》県図書館へ

大友 紀夫 《主査》福利課へ

〔転入者〕

鈴木 敏夫 教頭 《数学》

鶴岡 丈彦 《英語》泉館山高より

伊藤 博 《理科》松島高より

加賀 高陽 《保健体育》仙台一高より

菊地麻里子 《芸術》仙台東高より

小林 陽二 《理科》宮城広瀬高より

桂島 敦 《地歴公民》泉館山高より

青山 聡 《英語》仙南陵中等学校へ

鈴木共同子 《家庭》岩田山高より

佐々木美紀 《国語》県農業高より

佐々木祥子 《理科》石巻市女子高より

齋藤美代子 《事務部長》利府支援学校より

長谷川芳江 《主任主査》利府高より

門脇 祐加 《主事》新採用